

令和2年4月 定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和2年4月6日(月) 開会 16時00分 閉会 16時40分

2 場 所 福井市役所8階第3委員会室

3 出席者 教育長 吉川 雄二
教育長職務代理者 春木 伸一
教育委員 木村 敦子
教育委員 多田 和博
教育委員 宮郷 美千代

<事務局職員>

教育部長 塚谷 朋美
少年対策参事官 谷口 敏英
教育次長 向井 成人
副理事 桑原 浩明

(生涯学習課長事務取扱)

図書館統括館長 小倉 敏之
教育総務課長 馬來田 善準
学校教育課長 氣谷 達郎
保健給食課長 坂井 小由里
青少年課長 松田 玲子
スポーツ課長 中嶋 靖利
文化財保護課長 天谷 賢一
図書館長 中野 裕三
桜木図書館長 田畑 裕嗣
みどり図書館長 井土 博之
調整参事 吉田 武文
教育総務課 副課長 名津井 章
教育総務課 主幹 山崎 哲央
教育総務課 主査 池田 拓朗

4 議 題

議 案

第1号議案 福井市社会教育功労者表彰について

第1号報告 専決処分(福井市結核対策委員会委員の委嘱)の承認を求めることについて

報 告

(1) 令和2年4月 福井市教育委員会事務局職員の異動について

(2) 令和2年4月 福井市教育委員会事務局に勤務する教職員について

5 議事の経過

- (1) 開会、異動職員（副参事以上）のあいさつ
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 会議録署名委員の指名 春木 伸一 委員 宮郷 美千代 委員
- (4) 議事の要旨

吉川教育長

まず、第1号議案 福井市社会教育功労者表彰について、事務局から説明を求める。

事務局
(生涯学習課長)

2月の定例教育委員会において、今年度の表彰については滞納の調査を行った上で表彰者を決定すると報告した。今回、教育委員会関係の被表彰者18名は、全員、滞納がなかったことを報告する。なお、今回の18名は全員がPTA関係者ということで、例年、福井市PTA連合会の総会で表彰されることとなっている。今年度は5月16日が予定されていたが、このような情勢であるため、総会を1か月程度延期し、6月20日頃で調整している。

吉川教育長

ただ今の説明について、御意見、御質問等があれば願います。

特に意見なし

吉川教育長

それでは第1号議案について、原案のとおり承認することで御異議ないか。

異議なしの声

吉川教育長

第1号議案について原案のとおり承認することとする。

吉川教育長

次に、第1号報告 専決処分（福井市結核対策委員会委員の委嘱）の承認を求めることについて、事務局から説明を求める。

事務局
(保健給食課長)

福井市教育委員会所管事務委任規則第2条第2号の規定により、7名の委員の専決処分を行ったので、承認をお願いするものである。委嘱期間は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間である。

吉川教育長

ただ今の説明について、御意見、御質問等があれば願います。

特に意見なし

吉川教育長

それでは第1号報告について、報告のとおり承認することで御異議ないか。

異議なしの声

吉川教育長

第1号報告について報告のとおり承認することとする。

吉川教育長

続いて報告事項(1)令和2年4月 福井市教育委員会事務局職員の異動について、事務局から説明を求める。

事務局
(教育部長)

今回の異動総数は916名で、昨年度に比べ22名の減となっている。採用・退職の状況は、退職者数84名に対し、新規採用者数66名、フルタイム再任用職員38人である。この結果、職員の総数は、昨年度より15名減の2,312人となっている。組織改編については大きく4点あるが、このうち教育委員会に関係するものは、(4)「その他組織・機構の見直し、職員体制の強化」の「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催等に向けた体制の強化」である。令和3年度全国高等学校総合体育大会において、本市では、陸上競技、自転車、ボクシング、ハンドボールの4競技が開催されるため、各競技団体との調整や競技会場の設営などの準備・運営に向けた業務を円滑に進めるため、また、フルマラソンの開催に向けた準備のため、スポーツ課の職員が増員となっている。次に、教育委員会事務局職員の異動の概要であるが、3月31日付け退職者は14名、他部局への異動は27名、他部局からの異動は34名であり、新規採用者は6名となっている。所属ごとの職員数と増減は資料のとおりであり、教育委員会事務局全体では3名の減となっている。

吉川教育長

ただ今の説明について、御質問等があればお願いする。

吉川教育長

資料7ページと8ページについて、これまでは、4月の定例教育委員会の冒頭に、退職者や異動した職員のあいさつを行っていたが、今年度から簡略化させていただいた。

吉川教育長

次に、報告(2)令和2年4月 福井市教育委員会事務局に勤務する教職員について、事務局から説明を求める。

事務局
(学校教育課長)

このたびの教職員の定期異動によって、学校教育課に勤務していた指導主事1名が学校現場に転出し、後任として、中学校から小学校籍に異動して学校教育課勤務という形で、1名が着任した。なお、教育委員会事務局に勤務している教職員は、資料記載の13名であるが、在籍の欄に学校名が記載してある4名については、学校籍で県から派遣されている者である。これ以外は、行政に転出して、市職員として勤務している者である。

吉川教育長

ただ今の説明について、御質問等があればお願いする。

特に意見なし

吉川教育長 予定していた審議事項は以上であるが、その他として何かあればお願いします。

事務局
(教育総務課長) お手元に行事報告と行事予定を配布している。その中で、新型コロナウイルス感染症の関係で先週から様々な行事が中止となっているが、資料は3月の下旬に作成したものであるため反映できていない。このことをお含みの上で御覧いただきたい。4月中の行事も全て中止である。

事務局
(学校教育課長) ただ今の報告に関連して、4月末の退職教職員感謝状贈呈式について、今年度は、式は中止し、感謝状は郵送するという対応を取るのをご了承願いたい。

吉川教育長 次回の会議に、対象者の一覧表の添付をお願いしたい。

多田委員 本来なら先月の卒業式に教育委員が出席し、告辞をしなければならなかったのだが、実際にどういう告辞が配られているのか分からないままに終わってしまっているの、メール等で教えてほしい。

事務局
(学校教育課長) 今回は来賓の出席を見合わせる事となった際に、文面だけお送りしなければならなかったところ、失念しており誠に申し訳なかった。至急、お送りするので、御一読願いたい。

多田委員 学校が休校になっているが、非常勤講師は一コマ幾らで収入を得ていると思うが、補償等はどうなっているのか。

事務局
(学校教育課長) 高校の非常勤講師の中には、例えば化学の授業だけ教えに来て一コマ幾ら、という職員もいるのだが、小中学校に勤務している非常勤講師で一コマ幾らという職員はいない。このほか、支援員等については、事務補助的な業務や学校内の仕事の手伝いをしてもらう、あるいは年休を取ってもらう、といった対応をしている。

吉川教育長 現在、給料は出しているが、年間を通じて幾ら、という枠になっているので、例えば夏休みに授業が延びたときに、通常、夏休みは給料を支給していないので、その分を補正をするかどうかも含めて、給料の手当ではしっかりと補償する方向で話をしているところである。市のいきいきサポーターも、県費の方も同様の取扱いである。

多田委員 入学式、始業式の延期の件であるが、今回の変更において内部でどういう判断があったのか、また、ゴールデンウィーク明けの判断を行う場合も、判断材料がはっきりと分かるようにしておいた方が良くと思う。状況が刻々と変化しているので大変だと思うが、是非検討してほしい。

吉川教育長 再開の判断材料についてだが、4月2日に県が「部活は行わないが県立高校は

授業を再開する」という判断をしたわけだが、その時に市としては「市内でこれだけの感染者が出ている状況で子どもたちのことを考えると、授業はなかなか難しいだろう」ということで、5月6日までの延期を決定した。ただし、県は授業を再開してもよいという判断だったので、入学式と始業式を行って、特に新1年生の保護者への連絡体制を整えつつ、教科書も持ち帰ってもらい、1か月間、家庭で課題等にしっかりと取組んでもらおうということで4月3日の朝に学校を通じて保護者に通知した。ところが、その日の午後に知事が、高校も5月6日まで延期し、入学式も延ばすという判断になったので、その日の朝に言ったことが夕方に覆ってしまったのが現状である。多田委員がおっしゃるように、どういう状態になったら再開できるのかということだが、昨日、一昨日も市長と協議をしていたのだが、市長としては「福井市の中で感染者がゼロという日が少なくとも1週間程度は続かないと市民としては安心できないだろう」という思いがある。そのところは県の市町教育長会議の中で、他の市町ともすり合わせて判断をしたいと思う。

春木委員

美術館は教育委員会の所管なのか。行事予定に美術館の行事が書いてあるのだが。

吉川教育長

所管からは外れているが、美術館も社会教育や文化的機能を担っているので記載してある。

春木委員

問題は、少年自然の家であるが、どのくらいの期間、入院しているのか。やはり2週間か。症状がなくなってからPCR検査を行い、帰宅させるとか。

事務局
(教育部長)

PCR検査で2回陰性の結果が出る必要がある。入院の期間は、県からは平均2週間と聞いている。

吉川教育長

県は、最長でも2週間ほどと判断をしているようだ。

春木委員

キャパシティはどの程度と考えているのか。

事務局
(教育部長)

部屋は最大20室あり、1人1室が基本だが、家族の場合は1部屋で、ということも考えているようだ。

吉川教育長

基本的には、軽症者や無症状者がそこに移って療養するということである。医療用品などは全て県の持ち込みであり、出入りするのには医療従事者や食事業者などである。逆に、少年自然の家の職員はそこに居られないので、青少年課や教育委員会の別の所属で一時的に業務を行っている状況である。これがいつまで続くのかという見通しは、今のところはないのが実情であるが、最低でも7月頃までは想定している。

吉川教育長

ほかになければ、最後に事務局から次回の日程について願います。

事務局
(教育総務課副課長)

次回の定例教育委員会について、5月25日(月)15時から、場所は福井市役所8階第3委員会室にて開催するので、御出席いただきたい。

吉川教育長

以上をもって会議を終了する。